

シロチドリ

Charadrius alexandrinus



分類	チドリ目チドリ科													
特徴	胸の両側に黒い模様のある、海辺に多いチドリ類。日本全国を普通に繁殖し、北海道では夏鳥、本州以南では主に留鳥である。													
生活	川や下流の海岸に棲息し、繁殖期には砂礫地や砂地の所でややコロニー状に集まって営巣し、非繁殖期には大きな群れで干潟や砂浜で生活することが多い。餌をとる時は立ち止まってあたりの地面を注視し、小動物を見つけるとかけ寄ってそれをついばみ、また2、3歩歩いて立ち止まって次の餌を探す。繁殖習性はコチドリなどと同様だが、卵数は3個である。													
声	繁殖期には巣や雛の近くに外敵が近寄ると「ブリヨ」とか「プー」という大きな声で鳴く。また、地上で「ジクジク」という声を発することがある。「ピオピオ」とか「ピュルピュル」という清らかな声は繁殖期以外にもよく聞かれる。													
見分け方	胸の黒いバンドが中央で切れている点でコチドリやイカルチドリと区別でき、飛ぶと白い翼帯が出る。くちばしと脚は黒い。													
時期	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
その他	全長(L)17cm　翼開長(W)36cm													
参考文献：山溪カラー名鑑　日本の野鳥														

参考文献：山溪カラー名鑑 日本野鳥